

先端技術導入事例

ICT 技術を使用した捕獲機材の導入（下関市）

1 導入の目的・背景

ICT 技術を使用した捕獲機材を導入することで、錯誤捕獲の防止や捕獲者の負担軽減による捕獲の効率化および捕獲機材に装備されたセンサー等で得られる情報を分析することで生息状況の把握を図る。

2 導入した機器の概要等

導入機器名及び数量	ロボットまる見えホカクン 楽おり BIG フェンス一式
設置場所	下関市菊川町大字上保木
対象鳥獣	シカ
設置時期	令和2年10月



(捕獲柵)



(侵入センサー)



(捕獲時)

3 効果

シカの侵入をセンサーが感知し、メールが送信されることにより、動画ライブ映像を確認しながらの捕獲が可能となり、錯誤捕獲の防止及び群れ全体の捕獲が出来るようになる。

4 使用者の声

設置当初は、数頭のシカが、わな付近に近寄る程度だったが、しばらくすると、群れで集まる様になり、ライブ映像を見ながら、わなを作動させることにより、一度に8頭のシカを捕獲することが出来た。